金融市場型特別勘定　運用状況（2009年11月末現在）

運用方針

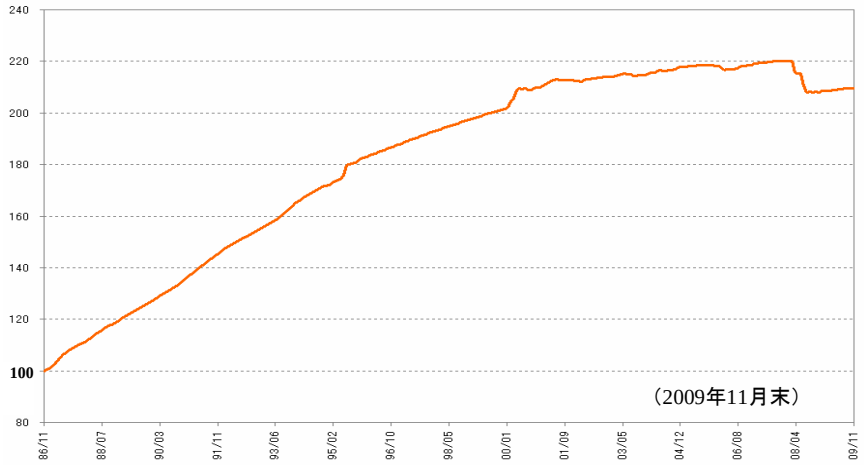
- 主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。
- NOMURA－BPI（総合短期）を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
209.69673288	+0.09%	+0.12%	+0.38%	+0.79%	▲4.00%	▲3.62%	+109.70%

（注）ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移（運用開始日：1986年12月1日）



資産内訳

	金額(千円)	構成比
投　資　信　託	8,987,582	99.2%
現預金・その他	71,910	0.8%
合　　計	9,059,492	100.0%

運用状況

2009年11月の国内債券市場は、NOMURA-BPIで0.86%の上昇となりました。1.4%台前半で始まった10年物国債利回りは、世界経済の改善を受けて一時1.4%台後半まで上昇しました。しかし、相次ぐ増資発表や円高進行などから国内経済の不透明感が高まると低下に転じ、最終的に1.2%台後半で月を終えました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.09%上昇しました。

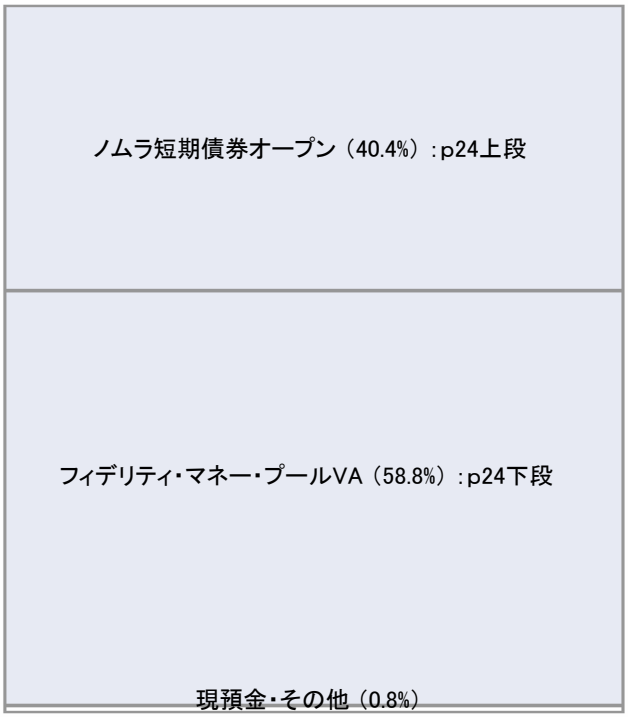
現在、「ノムラ短期債券オープン」および「フィデリティ・マネー・プールVA」に投資しています。

11月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

12月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ポートフォリオの状況

［組入れ投資信託（投資比率）］



（注）「p24上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2／27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』
■将来の投資成果を保証するものではありません
当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。